

奥出雲町林地残材搬出に伴う自伐林家等支援事業

奥出雲町オロチの深山きこりプロジェクト（平成27年度概要版）

健全な森づくりをみんなに
勧めたい！



経緯

平成19年から「健全な森を次世代へ」をテーマに活動をする仁多郡林業研究グループは、平成23年にNPO法人土佐の森・救援隊の林地残材の運搬収集システムを参考にした「自伐普及計画」を町長提案し、間伐等森林整備による公益的機能の発揮と地域通貨による地域振興を強く訴えました。

また、町では「バイオマスタウン構想」により町内2ヶ所の温泉施設にチップボイラーの導入が決定し、自伐された木材をチップボイラーの燃料として活用することで、この事業への支援と予算化が実現しました。

土佐の森方式「林地残材の運搬収集システム」
NPO法人 土佐の森・救援隊



奥出雲町バイオマスタウン構想

チップボイラーが導入された温泉施設



商工会加盟店

佐白温泉

亀嵩温泉

商品券で購入

出荷者

商品券6,000円/t

町補助金上乗せ
3,000円/t

チップ供給

チップ売上金

間伐材等出荷

実行委員会

間伐材等売上金3,000円/t

間伐材等売上金

仁多郡森林組合

伐木・造材研修の様子



森の健康診断の様子



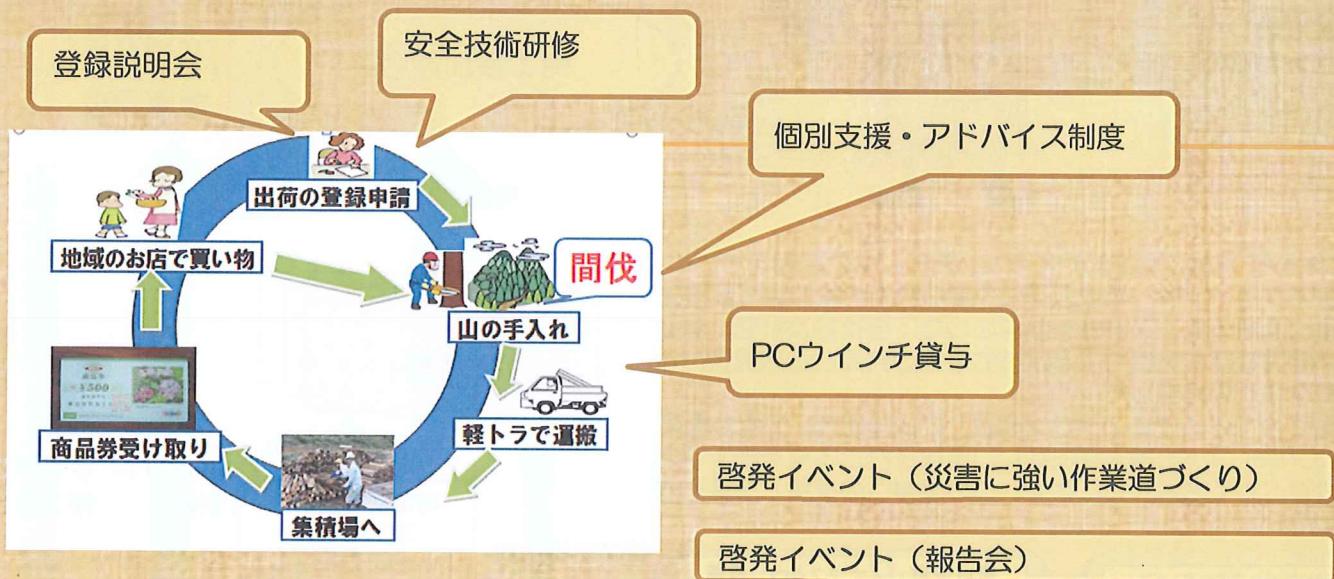
年度別出荷量と商品券額の集計表（単位:t、千円）	H24年度	H25年度	H26年度
年度			
出荷量	138.23	293.34	382.43
商品券額	828	1,758	2,289



—■— H24年度
—■— H25年度
—■— H26年度

研修内容

登録とその後の支援・研修事業を下記の通り用意しています。安全に作業するためにも、研修を受講し技術を習得して下さい。



項目	主催	内容	様式No.
登録説明会	きこりプロジェクト実行委員会	プロジェクトの仕組み、登録方法、安全技術研修や個別支援・アドバイス制度について説明します。	①登録申請書、登録証（見本） ②変更申請書 ③商品券交換申請書、計量伝票（見本） ④出荷受入予定日
安全技術研修	きこりプロジェクト実行委員会	登録者が必ず受講しなければならない研修として、④チェンソーの目立てとワーク、⑤伐木と造材、⑥PCワインチを使った集材の3つの内容で年3回開催します。	安全技術研修募集チラシ
個別支援・アドバイス制度	仁多郡林業研究グループ	登録者の持ち山で、林研グループのメンバー2名が選木、伐木、造材、集材（PCワインチの扱い方を含む）、積込まで細かくアドバイスしながら、作業をお手伝いします。	⑤個別支援アドバイス制度活用申込書
PCワインチ貸与	きこりプロジェクト実行委員会	集材に使用するPCワインチを申請に基づき貸し出す制度で、上記の個別支援・アドバイス制度と併せて活用できます。	⑥PCワインチ貸与申請書
啓発イベント（災害に強い作業道づくり）	きこりプロジェクト実行委員会	災害に強い作業道づくりを推進するため、講習会や作業道整備の進む山林での実演研修や公開作業を実施。登録者の持ち山で作業道敷設アドバイスも行います。	啓発イベント募集チラシ
啓発イベント（報告会）	きこりプロジェクト実行委員会	きこりプロジェクトの再確認と里山の循環を行う上で必要な知識を講演会等を通して培います。1年間を振り返る報告会を併せて開催します。	啓発イベント募集チラシ

*個別支援・アドバイス制度は規定数となり次第、締切れます。

*PCワインチは数に限りがありますので、お待ち頂く場合があります。

*様式No.①～⑥は出荷登録時に併せてお渡し致します。その他は随時郵送致します。

その他の活動

子供版きこりプロジェクト

実行委員会では、町内小中学校に里山保全を題材に環境学習を提案しています。毎年2校の林業体験（伐木・集材・出荷作業）を通じ、かつて農村で当たり前だった循環型社会の営み（地産地消）を伝えています。



森の健康診断への協力

実行委員会では、森の混み具合を調査し健全な森づくりを提案する「森の健康診断」を後援することで、山林整備・間伐の必要性を呼びかけています。

